

2016.4 → 2017.1

ハナスバ 2016

キーワードは『境界』 キョウカイ

境界とは物事のさかい目。

「肩書きではなくその人個人に触れるとき、
本来人は「つながって」いくのかもしれない、
今年の十月に行った「あーと×ふくしトーク
カフェ ハナスバ」のチラシに書いた言葉。

分野や立場が違って、同じ興味のある
人同士が「対話」を通して有機的につながれ
ば新たなアクションが自然と生まれるかも
しれない。

人同士がその専門と専門の「境界」を越え
ることで、まだ出会ったことのない新たな
価値を獲得できるかもしれない。

私たちは、そんな淡い期待を込め昨年「ハナ
スバ」を開催した。

「ハナスバ」をきっかけに新たな「つながり」
が生まれ、アクションが起き、確かな手ごたえ
を感じた。一気に大きなことはできないが、少
しずつ着実にやっていこう。その人個人が素
で出逢える場をつくること。きっとその先に
社会を変革する力があると信じて。

『境界』はあるのかないのか。

2016年、『境界』を『越える』ことを改め
て考えたい。

4.17 日 13:30-

ちゅん 脳熱な感じ誰か一緒に体験しない??

～民間発の小さなアール・ブリュット展からみえたこと～

米田昌功 (アートNPO工房COCOPELLI) 酒井晴美 (教諭)
野路靖人、野路明子、高嶋由衣 (六感デザイン)
進行: 朝倉由希 (静岡文化芸術大学非常勤講師/一乗・創造の谷プロジェクト)

6.3 金 19:00-

観光とアートの有機的な関係とは?

～消費から創造への転換を考える～

加藤種男 (公益社団法人企業メセナ協議会 専務理事)
朝倉由希 (静岡文化芸術大学非常勤講師/一乗・創造の谷プロジェクト)
中埜浩之 (福井芸術・文化フォーラム事務局長)

■会場 / 福井 北ノ庄クラシックス

■参加費 / 1,500円(1ドリンク付き)

※お申し込み・お問い合わせは裏面に記載

ハナスバとは?

福井芸術・文化フォーラムが「福井で障害のある人の表現活動をより豊かにするには」というテーマで2015年10月に開催したトークイベント。2016年は4月から隔月で開催。話し手が主に話す「場」と、会場に集まった人が自由に交流し話す「場」の二部構成。県内外の表現者やプロデューサー等の「話し手」を招いて、アートと福祉、アートと観光など、アートは境界や分野を越えて社会を切り拓く可能性があるということを考え、個人と個人の自由な対話により新たなアクションが生まれるきっかけ作りを目指す。



2015年10月「あーと×ふくし トークカフェ ハナスバ」 会場: 福井 北ノ庄クラシックス
撮影: office photo style (古川智伯)